川崎市立土橋小学校　令和8年10月30日

～学校だより～　　つながるこころ　ちからをあわせ　はじけるえがお　しあわせいっぱい

つちはし



「人柄」

川崎市立土橋小学校校長　山本　直

先日、元プロ野球選手でメジャーリーガーだった松井秀喜さんが、読売ジャイアンツ（巨人軍）の監督になるとのニュースを何度も目にしました。小学生時代、阪神タイガースの22番田淵幸一、31番掛布雅之にあこがれて野球に熱中していた私は、にっくきライバル巨人と言えば「長嶋茂雄」「王貞治」でした。その長嶋茂雄氏が育てたと言われている松井秀喜さんが監督になるということは、多くの巨人ファン、野球ファンにとってうれしい話だと思います。

このニュースは、多くの番組で取り上げられていましたが、その内容で多かったのが、松井秀喜さんの「人柄」についての話でした。メディアの取材に対して真摯に対応し、謙虚さと向上心があり、普段は寡黙だがセンスのあるジョークで明るく笑わせる面もあり、そして何よりも子どもの頃から「人の悪口は言わない」と父親から厳しく教えられたことが、他者への敬意や礼儀正しい立振舞いのもとになっているのだそうです。メジャーリーグのヤンキースでも、多くの選手やスタッフから慕われていたそうです。そういえば、大谷翔平選手も人柄や性格がよいということをよく耳にします。一流と呼ばれる人は、そうした人柄というものも大きく影響しているのかもしれません。

「人柄」を調べてみると、「態度や振舞いを通じて、周りの人が評価する外面的な印象で、後天的な意識や行動の積み重ねで変えること、磨くことができる」とありました。様々な人とのかかわりの中で、より良いものに高めていけるということでしょうか。

そういえば、長嶋茂雄さんについても、その人柄のすばらしさを多くの人が語っており、「気さくで誰とでも親しくできる」「少年のような無邪気さが魅力」「抜群の気遣いや心遣い」「情熱的でポジティブ」などの言葉が出てきます。そして、その長嶋茂雄さんから1対1で指導をうけていたということは、松井秀喜さんの人柄のよさも父親だけでなく、長嶋茂雄さんからの影響の積み重ねによるものなのかもしれません。

私たち大人は、子どもたちを育てていく上で多くの影響を与えています。おそらく、日々の関係において自分自身の人柄というものが、多くの子どもたちに伝わっているのだろうと思うと、はたしてそれは良い影響になっているのだろうかと心配にもなりますが、これまでふれてきた多くの先輩や仲間たちの人柄のよさを思い出しながら、子どもたちに誠実に接していきたいと思っています。

※明日は運動会！　雨が降りませんように・・・